

(事例30) 44歳男性、刀鍛冶、高血圧のため夜勤・長時間残業禁止

類型	症候	疾患
1、2、3、4	1. 肥満、高血糖、高血圧、脂質異常	9. 肥満、糖尿病、脂質代謝異常症、4. 高血圧

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 44歳男性</p> <p>2) 業種、作業内容 刀鍛冶</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など</p> <p>①治療が望ましい肥満症 (BMI28+肥満関連疾患)</p> <p>②コントロール不良の未治療糖尿病 (随時血糖=200mg/dl、HbA1c=12.7%)</p> <p>③Ⅲ度高血圧の疑い (193/123mmHg) →JSH2009によるリスク層別化で②と合わせて高リスク</p> <p>④脂質異常症 (LDLcho=188mg/dl、L/Hratio=3.19)</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など</p> <p>『医療機関を受診し、精密検査および治療を受けなければ以下の措置が望ましいと考えます。』</p> <p>①交代勤務(夜勤)の禁止。</p> <p>②過重な労働負荷の制限(時間外労働 月45時間未満が望ましい)</p>		
<p>4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>嘱託産業医先での事例であり、事業場を訪問できる機会に時間的制限があります。そのため健診結果を確認し、就業判定を行い、面談指導を行い、事後措置内容を伝え、その後をフォローするといった流れの迅速で丁寧な対応が困難な場合があります。しかし、嘱託産業医(社外の専門医)として事業者とも労働者ともよい距離間を保ちやすく、厳しい措置内容でも場合によっては専門家として伝えやすいとも思います。今回の事例は、下記のように複数の総合的な目的を迅速に目指すために、本人との面談指導の前にデータと過去の面談記録のみから上記の制限の必要性を進言した事例です。先に制限を進言し、その後の事業場訪問の際に本人へ面談指導を行い、受診結果と治療状況を確認して制限を緩和しました。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可)</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>② 企業リスクが予見されたため(交通事故、公衆災害の発生など)</p> <p>③ 健康管理を促進するため(受診、治療を強く進めるため)</p> <p>④ 職場や企業への注意を促すため(例: 過重労働職場に対し、残業を一定時間以下に制限するなど)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください</p> <p>①本人や事業者にも、就業制限の必要性や妥当性を十分に説明する機会に時間的制限がある。</p> <p>②就業制限の妥当性に関して科学的な根拠となるデータや資料が乏しく、判断者(産業医)によって判断が異なる場合も多い。</p>		